

Ⅱ－３

視覚障害教育情報ネットワークの概要と変更点

Ⅱ－３ 視覚障害教育情報ネットワークの概要と変更点

１．当ネットワークの概要

視覚障害教育情報ネットワークは、当研究所の運用による、インターネットで、視覚障害教育全般についての教材データ提供および情報提供を行う場である。また、盲学校間など視覚障害関連機関の間での情報交換・意見交換の場でもある。そのアドレスは、<http://www.tenji.ne.jp/> である。

当ネットワークは、平成４年に「盲学校点字情報ネットワーク」としてパソコン通信のシステムとして開設された後、平成14年５月から、インターネットによるシステムに更新されている。平成15年度からは、点字情報を含め、視覚障害教育全般についての情報提供を目指し、現在の「視覚障害教育情報ネットワーク」に更新された。

当ネットワークにおける教材データは、全国の盲学校やボランティアグループが作成した点字、触図、テキストデータなどの電子データであり、データベースに集積されている。これらのデータは、盲学校、ボランティアグループなど加入機関のほか、一部のデータを除いては、一般にも公開しており、ダウンロードすることが可能である。

情報提供については、全て一般に公開している。

また、当研究所が事務局を務める「日本弱視教育研究会」のページもある。

なお、当ネットワークについては、３年前にまとめたものもあるので、それも参照していただきたい。^{1) 2)}

２．平成17年度における変更点

平成16年度末から17年度にかけて、当ネットワークのWebページを見直し、平成17年６月にコンテンツの追加、修正を行った。また、データベースの使用方法について、一部追加を行った。

また、加入機関についても拡充を図った。

１）コンテンツの追加・修正

それ以前のWebページのメニューページと、変更後のメニューページを図１に示す。

このように、旧ページのデータベースの部分である「ライブラリ」を「視覚障害教育教材データベース」と名前をあらためたうえ、「視覚障害教育教材・教具情報」、「視覚障害教育教材の作成」、「視覚障害教育法」、「視覚障害教育リソース」の各項目を追加した。また、「お知らせ」については、トップページに移動し、新たに追加した「What's new」とともに掲載している。

このうち、「視覚障害教育教材の作成」については、拡大教材と触覚教材についての情報提供を行うこととし、特に、当研究所での研究に基づく、「拡大教科書」についての情報提供と、触図についての情報提供に関わるコンテンツの充実を図った。

それらの画面を図２～図５に示す。

また、弱視関係のコンテンツの充実も目指し、今回、当研究所が事務局をつとめる日本弱視教育研究会のページも追加した。そのトップページを図６に示す。

２）データベースの機能追加

データベースの使用方法について、視覚障害者が音声で利用する場合、検索項目および、その下位項目を、順に読んでいくしかないことが利用者から指摘された。これに対応するために、検索項目について、ショートカットキーで、ジャンプして使用できるように変更を加えた。

その検索画面を図７に示す。項目の後に加えられたカッコ内のB、S、Oなどがショートカットキーである。

３）加入機関の拡充

これまで、加入機関としては、盲学校を中心としてきたが、弱視特殊学級の加入・利用を目指して、試行的に神奈川県弱視特殊学級の加入を呼びかけ、県内の、小学校７校、中学校２校、計９校の弱視学級が当ネットワークに加入した。

視覚障害教育情報ネットワーク

since Jun.2003



-  [お知らせ](#) お伝えしたいことがあります。チェックしてくださいね。
-  [ご案内](#) このネットワークに関する説明や利用方法、学校一覧等が、掲載されています。必ず一度お読みください。
-  [ライブラリ](#) 点字図書の検索やデータのダウンロードができます。また、なんでもデータバンクのご利用もできます。
-  [リンク集](#) 視覚障害関係のいろいろなリンク先です。
-  [利用のためのツール](#) Web版「盲学校点字情報ネットワーク」のための便利ツールと簡易操作手順書があります。ご活用ください。
-  [掲示板](#) 全国の盲学校の交流の場です。ぜひ皆様、参加していろいろなお話をしましょう。
-  [利用者情報](#) 登録情報の変更・確認などはこちらで。
-  [開発中のページ](#) 公開に向けて準備中のコンテンツです。

a. 変更前のメニューページ

視覚障害教育情報ネットワーク

since Jun.2003



-  [ご案内](#) 当ネットワークの主旨、運用方法、利用方法などについてお伝えします。
-  [視覚障害教育教材データベース](#) 点字データ、触図データ、テキストデータなど視覚障害教育関連の電子データ教材データベースです。このページからその電子データのダウンロードが可能です。
-  [視覚障害教育教材・教具情報](#) 電子データ以外の教材情報及び教具についての情報提供です。
-  [視覚障害教育教材の作成](#) 点字教材、触図教材、拡大教材など、視覚障害教育教材を作成する際の留意点や作成方法などについてのページです。
-  [視覚障害教育法](#) 点字指導、歩行指導など自立活動の指導法、国語や算数・数学など各教科の指導法、教育相談の進め方など、教育方法に関わるページです。
-  [視覚障害教育リソース](#) 視覚障害関連文献、同住所録などの情報提供のページです。
-  [リンク集](#) 視覚障害教育関連のホームページについてのリンク集です。
-  [利用のためのツール](#) 当ネットワークを利用するうえで役立つツールを紹介しています。
-  [お知らせの履歴](#) トップページ掲載の過去のお知らせの一覧です。

日本弱視教育研究会

日本弱視教育研究会のページ

当研究所が事務局を担当しています。ここでは、当研究会のご案内や、弱視教育研究全国大会の情報提供などを行います。

お問い合わせのメールはこちらまで → support@tenline.jp

b. 変更後のメニューページ

図1 メニューページの変更

拡大教材製作プロジェクト

弱視児用に文字および図表類を拡大した拡大教科書の作成方法、拡大教科書の見本などについて情報提供します。これは、当研究所のプロジェクト研究として、外部協力者とともに進めている拡大教科書作成に関わる研究内容をもとにしたものです。

当研究所作成の「拡大教科書」についての情報

社会と理科の拡大教科書についての情報、「拡大教科書」作成マニュアルの情報などを提供しています。

拡大写本(プライベートサービス)のページ

当研究所作成の「拡大教科書」は、文科省著作点字教科書と同じ原本教科書を元にして、0.1程度の視力の弱視児童生徒を対象とした、1種多部数印刷によるものです。

弱視児童生徒の中には、この教科書を使用することが難しい子どもさんもあります。このような子どもさんに対応するためには、ボランティアグループなどによる、一人一人に対応した「拡大教科書」製作(プライベートサービス)が必要です。

ここでは、このことについての情報提供を行います。

図2 拡大教材のページ 1 ページ目

当研究所作成の「拡大教科書」についての情報

ご案内

平成18年度用の教科書が確定しました。

平成18年度の中学理科・社会につきましては、分冊数・価格等未定です。
決定次第、当ページに掲載いたします。いましばらくお待ちください。(2005.07.15)

平成18年度版拡大教科書 [小学校一覧はこちら](#) [中学校一覧はこちら](#)

平成17年度版拡大教科書 [小学校一覧はこちら](#) [中学校一覧はこちら](#)

[比較見本はこちら](#)

[価格一覧はこちら](#)

会員の方は **こちら** から！

拡大教科書作成マニュアル

- ◆ [国立特殊教育総合研究所プロジェクト研究報告書](#)

当研究所Webページでの掲載ページへのリンクです。

- ◆ 書籍(ジアース教育新社発行)

購入については、ジアース教育新社へお問い合わせください。

TEL:03-5287-7183(直)

URL:<http://www.kyoikushinsha.co.jp/>

「拡大教科書」作成マニュアル 拡大教科書作成へのアプローチ

(ジアース教育新社 定価1,810円+税)

図3 拡大教材のページ 当研究所に関わる情報提供

拡大写本(プライベートサービス)のページ

拡大写本ボランティアグループ一覧 (全国拡大教材製作協議会提供)

全国拡大教材製作協議会会員のボランティアグループ一覧です。

「拡大教科書」製作目録(Excelファイル) (全国拡大教材製作協議会提供)

全国拡大教材製作協議会会員のボランティアグループが作製した「拡大教科書」の2004年度の実績です。

お問合せ先: 上記の一覧および目録についてのお問い合わせは、下記にお願いいたします。

全国拡大教材製作協議会

図4 拡大教材のページ 拡大写本ボランティアに関する情報提供



触図(凸図)作成の各種方法、視覚障害教育における触図の活用方法や配慮事項などについて情報提供します。これは、当研究所視覚障害教育研究部の研究の一環として、外部協力者もまじえて行っている触図作成に関わる研究をもとにしたものです。

盲学校における触覚教材作成の現状

触図の作成と活用について

触図作成マニュアル

- 科学研究費報告書
「インターネットを活用した視覚障害教育用触覚図形教材の盲学校間相互利用に関する研究」

当研究所Webページの掲載箇所へのリンクです。

- 国立特殊教育総合研究所研究紀要論文
「点字図書における図版の触図化についてー触図作成マニュアルの作成に向けてー」

HTML版

PDF版 当研究所Webページへのリンクです。

- 科学研究費報告書
「視覚障害児のための触る絵本の作製と活用および普及についての研究」

当研究所Webページへのリンクです。

触素材を貼り付ける方法、および立体コピーによる「触る絵本」の作製方針と全13冊の触る絵本の作製方法の紹介があります。立体コピー形式の触る絵本については、PDF形式の原図のデータとストーリーのデータを含んでおり、それを印刷することにより、実際の原図とストーリーの文章を作製することができます。

その他、当研究所が開発に関わっている点図作成ソフトウェア、高精度点図プリンタ等についても紹介していく予定です。

図5 触覚教材のページ

日本弱視教育研究会

日本弱視教育研究会の活動について ▶

日本弱視教育研究会会則 ▶

「弱視教育」編集及び執筆に関する規定 ▶

お知らせ（事務局だより）▶

入会のご案内 ▶

事務局連絡先 ▶

「日本弱視教育研究会」は、現在、独立行政法人国立特殊教育総合研究所内に事務局を置いております。ここでは、当研究会のご案内や、弱視教育研究全国大会の情報提供などを行います。

What's New

- 2006年1月27日 お知らせ(事務局便り)を更新いたしました。
- 2006年11月09日 43巻2号の表紙に誤植がありました。研究の2巻目、金田博先生の論文の表題について、次のように訂正をお願いします。
誤 「視覚障害教育環境における拡大読書器の研究開発 - 全国実態調査及び指導内容を精選した実践を中心として -」
正 「視覚障害教育環境における拡大読書器の研究開発」

図6 日本弱視教育研究会のページ

1. 探す

分類のなかの、行頭の項目は大分類、それに続く項目は小分類です。
大分類および小分類の、どの項目でも検索できます。

分類	大分類	小分類
	☐ 点字文書(B)	☐ BES(BE) ☐ BASE ☐ コータケ ☐ ブレイルスター ☐ その他
	☐ 凸図(S)	☐ エーデル ☐ PDF(立体コピー原図) ☐ BMP(立体コピー原図) ☐ その他
	☐ 音声(Q)	☐ MP3 ☐ その他
	☐ 墨字文書	☐ テキスト ☐ HTML形式 ☐ PDF形式 ☐ その他
	☐ 画像	☐ JPG ☐ その他
	☐ 動画	☐ MOV ☐ その他
	☐ ツール	☐ Windows用 ☐ Dos用 ☐ Macintosh用 ☐ その他
	☐ その他	☐ その他
目録状況	☐ 完成 ☐ 着手 ☐ 製作途中	
対象者	☐ 一般(T) ☐ 児童	
種別	☐ 書籍 ☐ 学校作成 ☐ 生徒作成 ☐ その他	
タイトル	(N)	
タイトル読み		
著者(作者)	(C)	
著者読み		
出版社		
ISBN		
NDC		
製作学校	IDを5桁で入力してください。 ID一覧はこちらから	
登録日	☒ 全て ☐ 本日 ☐ 最近7日間 ☐ 最近30日間	
メッセージ		

検索開始

検索条件クリア

図7 検索ページ (なんでもデータバンク)

4. データ数と利用状況

1) データ数（点字図書など完成済みのもののみ） （平成18年2月現在）

平成18年2月現在の、当ネットワークのデータベースに蓄積されているデータの種類とデータ数を表1に示す。

この表で、点字データについて、ないーぶネット作成となっているのは、視覚障害者一般を対象とした点字情報その他の配信ネットワークである同ネットワーク（<https://www.naiiv.gr.jp/>）から、平成15年3月まで、提供を受けていた点字データのことである。また、「なんでもデータバンク」は、平成14年5月、当ネットワークがインターネットシステムに更新した際に新しく開設したデータベースであり、それ以降は、当ネットワーク加入機関のデータは、全て、このデータベースにアップロードされるようになっている。

また、なんでもデータバンクは、点字データを含めて、他、触図データ、音声データ、テキストデータなども集積できるようになっている（図7参照）が、ここに挙げた音声データは、数は少ないが録音図書であり、そのなかにはDAISY図書、およびDAISY図書ではないが、その再生機で利用可能な図書も含まれている。

表1 視覚障害教育情報ネットワークのデータ数
（2006年2月現在）

データの種類	データ数
点字データ（タイトル数）	
ないーぶネット作成	43,758
当ネットワーク加入機関作成	967
なんでもデータバンク以外	438
なんでもデータバンク	529
点字データ計	44,725
点字以外のデータ	
触図データ（なんでもデータバンク）	762
音声データ（なんでもデータバンク）	17
その他（なんでもデータバンク）	20
合 計	45,524

2) 利用状況

平成17年1月から平成17年12月までの、最近1年間の利用状況について、図8と図9に示す。

図8のように、当ネットワークのコンテンツの追加、修正を行った平成17年6月から7月にかけて、加入機関とゲストの合計の閲覧ページ数は増加しており、同12月まで、ほぼ、そのレベルを保持している。その間、加入機関による閲覧ページ数にはあまり変動はなく、この増加は、ゲストによる閲覧数が増加したものであると言える。

図9で、補足すると、なんでもデータバンク以外の点字データについては、ダウンロードしたタイトル数での計算だが、なんでもデータバンクの「ダウンロード件数」については、ファイルを一括してダウンロードしたものも1件と計算されているもので

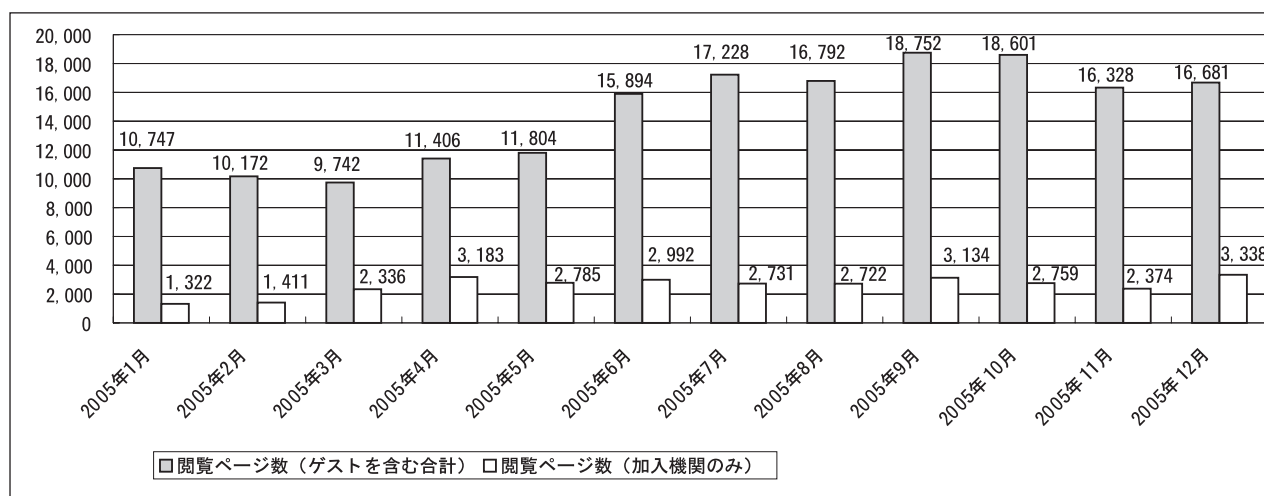


図8 当ネットワークWebページの閲覧ページ数頻度

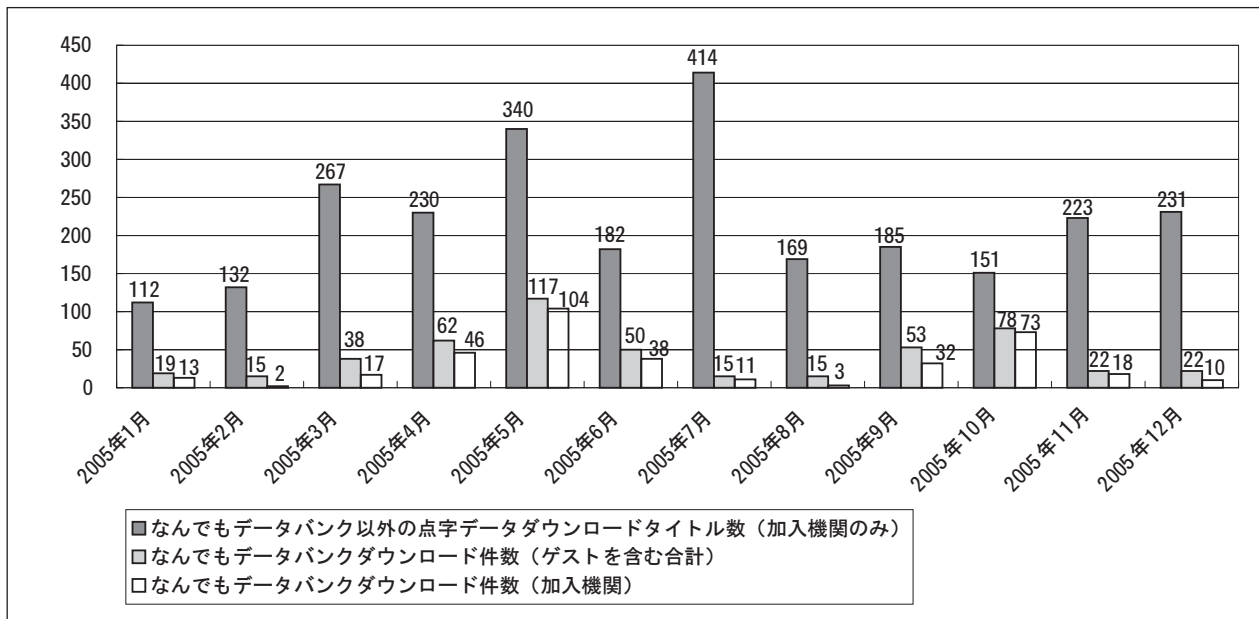


図9 当ネットワークのデータダウンロード頻度

ある。

なんでもデータバンク以外の点字データについては、月間、112タイトル～414タイトルといった、ばらつきのあるダウンロード頻度を示しているが、この期間で一番多い、平成17年（2005年）7月の414という数字は、やはり、その前月6月に、当ネットワークのWebページのコンテンツの追加、修正を行った結果かもしれない。なお、この期間の月平均は、220である。

なんでもデータバンクのダウンロード件数について、ゲストを含む件数でみると、これも、15件～117件とばらつきがある。月平均では、42件である。

ゲストと加入機関の件数を比較すると、月平均で、ゲストは12件、加入機関は31件となっており、加入機関の方が2倍ほど多い。

文 献

- 1) 金子健・大内進・千田耕基：「盲学校点字情報ネットワーク」の活用状況と今後の展望。独立行政法人国立特殊教育総合研究所研究紀要，30，131-150，2003.
- 2) 金子健・大内進・千田耕基：盲学校点字情報ネットワーク報告書—利用実態に基づく報告—。財団法人障害児教育財団，2003.

（金子 健，大内 進，千田耕基）

